



『活きていることわざ』

船橋市議会議員

神田 廣栄 (かんだひろえい) 議会報告

【事務所】船橋市前原西8-24-8 ☎490-3333 FAX 465-7117

Eメール hiroei@muc.biglobe.ne.jp

ホームページ <http://www.hiroei.jp>

桂馬の高上がり・断末魔 (だんまつま)

【桂馬の高上がり】◇実力が伴わず身分不相応な地位や立場についてしまい、あえなく失敗してしまうことのたとえ。

【断末魔】◇死に際、もしくは、その時の苦しみのこと。

・「末魔」は、これを傷つけると激痛とともに死ぬとされる身体の中の小さな部分のこと。

日本の政治状況が大きく変わりました。今回は私の政治的立場と考え方について述べさせて戴きます。

私は、20歳で選挙権を有してから、その大半を自由民主党或いはその候補者に投票をしてまいりました。それは、新潟県の農家に生まれ育ってきたことが大きく影響しています。

自由民主党の政策が他の党に批判されても、その政策が国や国民のためになるのであれば批判は甘んじて受けつつ、政権与党としての試練だからやむを得ないもの、と考えてずっと応援してきました。

前文に、その大半を自由民主党に投票してきたと書きましたが、残りの部分は最近のことで、それは、衆議院議員野田佳彦という人の人格に接してからは私の投票行動が変わりました。それでも比例区は民主党とは書かず、常に自由民主党と書いてきました。



そんな私を知ってか知らずか、今回も野田候補者の応援を駆でしていたら「なんで自民党の神田さんがここにいるの」とか「政権がとれると思ってるの風見鶏でないの」なんて言う人もおられました。あくまで、どの政党にも属さず是々非々の対応が私の信念なのです。以前にも書きましたが、私は市長を支える市長与党としての立場にありますが、市長提案の議案にも意見を言い、反対したこともありました。市議会議員として

市民目線に立って質問し、意見や提案を述べてまいりました。それは今後も貫いてまいります。





ところで、今回の選挙における民主党のマニフェストの一番目に書いてある「税金のムダづかいと天下りを根絶します」は、私が市議会議員として最初から申し上げてきたことと完全に一致しています。更に私は「必要な方に必要なものが得られる税金の有効活用」も訴えてまいりました。

毎議会において「それは些細(ささい)なことだ」と言われながらも、税金の無駄遣(つか)いを指摘し、市職員が定年になったら再雇用する必要はない、と言ってきました。市は「定年になって退職すると翌年の所得税負担が大変だから」とか「年金受給できるまで面倒をみる」とか「再雇用の条例があるから」という回答でした。納得できるまで質問していきます。

次に、「空き教室などの活用で保育所を増やし、待機児童解消を目指します」も、私が最近述べてきたことと全く合致(あ)っています。

「子ども手当」「高速道路の無料化」「公立高校の実質無料化と私立高校生にも相当額助成」など、最初は選挙目当ての聞こえのいい内容の羅列なのかと思っていきましたが、野田代議士の演説を聞くたびに、理解でき現実に実践してくれる確信を得ました。

皆さんが心配なのは「財源」だと思います。俗に言う「埋蔵金」なるものは、毎年継続してあるものではありませんから当てにできません。今までは不要不急のものでも、選挙目当てや癒着などによる利益誘導で相当の税金を投入していたと思います。これは官僚だけが悪いのではなく、特に大物政治家といわれる方の私利私欲によるものが大きかったようです。そこにメスを入れるのが、今回の政権交代だと思います。



それができないようだったら、「民主党よお前もか」になってしまうし、もう日本の将来はありません。『桂馬の高上がり』では困ります。

最後に、8月28日の読売新聞に掲載された自由民主党の宣伝広告はなんですか、民主党のマニフェストの批判ばかりで、自分たちの政策は全くありません。文章の最後にある「責任力 自由民主党」には呆(お)れてしまいました。これが私が今までの選挙の大半で1票を託して投じてきた政党かと思うと情けなくなりました。『断末魔』の見苦しさにしか見えません。猛省をして、私たちが安心して1票投じられるような政党に再出発されることを強く望みます。

その意味では、国民の皆様は良い選択をしたのではないかと思いますし、これから政権を担う民主党は、心して多くの国民の期待を裏切らないでほしいものです。



9月3日から9月議会です。また精一杯頑張っ(た)てまいりますので、傍聴やインターネットでご覧ください。